

第5回大阪のまちづくりグランドデザイン推進本部会議

《議事概要》

- 日時:令和6年5月14日(火) 10:00~10:50
- 場所:大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室
- 出席者: 会議資料「出席者名簿」のとおり

(司会)

定刻となりましたので、ただ今より第5回大阪のまちづくりグランドデザイン推進本部会議を開会します。

本日は、ご多忙の中、出席頂き、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます大阪都市計画局技監の上溝でございます。それでは、開会にあたりまして、森岡副知事より、ご挨拶を申し上げます。よろしくお願いします。

(本部員) 森岡副知事

どうも皆さま、おはようございます。大阪府副知事の森岡でございます。本日はお忙しい中、朝からこちらにご足労いただきましてありがとうございます。万博開催までいよいよあと1年を切りました。府内各地で万博を見据えて進められてきた取組がいよいよ実を結びつつあるのではないかというふうに思っています。

具体的に都心部でいいますと、皆さまご存知の通りうめきた2期の先行まちびらきが予定されております。また都市部周辺では、この3月に北大阪急行延伸線の開業によりまして駅周辺においてまちづくりが着実に進められているところです。

グランドデザインでは、このような都心部等の拠点開発効果を府域全体へ波及させるため、市町村とともに、大阪のまちづくりを推進していくとの考えのもと、昨年度から、まちづくりの機運醸成や環境整備などに向けた取組を進めてきました。本日は、そうした各取組の進捗状況や今後の取組などについて確認するとともに、グランドデザインのさらなる推進に向け、活発な議論をお願いして、開会の挨拶とします。

(司会)

出席者の紹介につきましては、配布の出席者名簿及び配席図をもって、代えさせていただきます。また、資料につきましては、次第に掲載しているものをお手元にお配りしております。資料の不足等がございましたら、挙手にてお知らせください。

まず、推進本部設置規約の変更について報告いたします。さる令和5年3月、副首都ビジョンが改定され、「大阪のまちづくりグランドデザイン」の推進に向けて、副首都ビジョンの観点から、意見や提案を行うため、大阪府・大阪市副首都推進局長及び堺市市長公室長が

新たに本部員として加わることとなりました。これに伴い、配布資料のとおり、推進本部設置規約を変更いたしましたことを報告いたします。それでは、次第に基づき、議事を進めさせていただきます。

資料「大阪のまちづくりグランドデザインの推進に向けて」について、事務局より資料の説明をさせていただきます。

(事務局)

はい、事務局の大阪都市計画局の西江でございます。議題の大阪のグランドデザイン推進に向けて資料をご説明します。まず、資料１ページ目をご覧ください。モニターにも表示しております。

まず、はじめに「大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり」について、その進捗状況や今後の予定等について、ご説明いたします。

大阪全体の成長・発展に向けては、都心部などにおける拠点エリアの形成により、東西・南北都市軸の強化を図ることが重要です。大阪・関西万博を控え、開催地である夢洲・咲洲エリアから、弁天町駅周辺、中之島、大阪城東部や京橋駅周辺、さらには東大阪方面へとつながる東西軸、御堂筋線が延伸した箕面エリアから、新大阪・うめきたなんば・天王寺、さらには中百舌鳥方面へとつながる南北軸、これら東西・南北都市軸上の様々な拠点で、万博開催を念頭に施設整備が進められるなど取組が進捗し、その成果が各所であらわれはじめています。

また、大阪府内の様々な地域で拠点形成に向けた取組が進められています。主な取組については後ほどご説明しますが、多様な働き方・暮らし方を選択できるまちの実現に向け、市町村や関係部局等が一体となって、取組を進めています。

ここからは、各地区の主な取組について、ご説明いたします。

うめきた２期については、大阪・関西万博開催に向けて、本年９月６日に先行まちびらきを迎えます。図の黄色で囲まれている部分の開業を予定しております。また、図の赤色の部分は、イノベーションの拠点の実現に向けた中核施設「ジャム・ベース」であり、まち全体でイノベーションの創出をめざしています。官民一体で設立した一般社団法人 U-FINO が、研究者や事業者などを繋げ、プロジェクト創出のコーディネートに取り組んでまいります。更に、来年春には、オレンジで囲まれている区域の開業を予定しており、全体完成は 2027 年度の予定です。

万博跡地である夢洲第２期区域については、万博の理念を継承したまちづくりを進め、第１期区域のＩＲとあわせて、国際観光拠点のさらなる強化を図ることとしています。第２期区域の開発に向け、今年夏頃から、マスタープラン案の提案を民間事業者から募集し、優秀提案を選定したうえで、その内容を基に、今年度末頃に府市でマスタープランを策定する予定です。その後、民間開発事業者を募集していく予定です。

大阪市域は、スーパースティ型国家戦略特別区域の指定を受けており、夢洲とうめきた２

期の2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開し、規制改革等を通じた先端的服务の実装等により、未来社会の先行実現に取り組んでいるところであります。

続きまして、大阪城東部地区であります。大阪城東部地区では、大阪メトロによる新駅や駅ビルの設置、大規模集客・交流空間におけるアリーナ・ホール等の整備などを示した「1.5期開発の開発方針」を今月中に策定する予定です。その後、今年度中に事業者公募を始め、来年秋の大阪公立大学森之宮キャンパス1期の開設や、2028年春からの1.5期開発のまちびらきをめざします。

堺市でございます。堺市では、多様な人が集い交流する魅力的な堺都心部の形成に向けて、取組を進めています。このうち堺旧港周辺の活性化について、まず、大浜北町市有地活用事業では、活用コンセプトに基づき、宿泊施設の整備など、歴史文化を活かした海辺の魅力的な交流空間の形成に取り組んでいます。また、親水護岸後背地等の活用では、民間事業者の公募を行い、海辺を活かした交流空間を創出するとともに、大阪港湾局と連携し、海上交通の運航に向け、社会実験を通じ機運醸成等を進めます。

高槻市・枚方市駅周辺では、現在、JR高槻駅北東の区域と阪急高槻市駅周辺の区域を含む約34haにおいて、都市再生緊急整備地域の指定を受け、市の玄関口に相応しいまちづくりを誘導しており、大阪医科大学附属病院新本館建築プロジェクトやJR高槻駅南地区市街地再開発事業が進められています。また、京阪枚方市駅周辺においては、再整備基本計画に基づき、各街区のまちづくりが推進されており、駅直近の第3街区において、市街地再開発事業による施設建築物が完成間近となっています。

続きまして、千里中央地区においては、西町エリア及び東町エリアともに、施設の更新等が着々と進みつつあります。また、先日、北大阪急行線が延伸され、箕面船場阪大前駅及び箕面萱野駅が開業されたところであり、交通ネットワークの充実によるまちづくりの相乗効果が期待されます。現在、資料下段に示す「東町中央ゾーン」再整備事業の赤枠で示されたエリアでは、活性化協議会において再整備の検討が進められており、先行して進められる解体工事中のオトカリテの跡地活用をはじめ大街区化等の推進や広場等の整備など、民間企業等と連携した再整備事業を推進してまいります。

守口市・門真市エリアでは、遊休地の活用による地域活性化の取組が進められており、昨年度パナソニックの工場跡地の「ららぽーと門真」や旧守口市役所跡地の「イオンタウン守口」が開業しています。また、「守口市駅北側エリアリノベーション戦略」の策定や、門真市駅・西三荘駅でのエリアリノベーションビジョンの策定に向けた取組が進められているほか、門真市駅前地区の市街地再開発事業による整備や、古川橋駅北側の土地区画整理事業による市立生涯学習複合施設や41階建てのタワーマンションの建設が進行中です。

長田・荒本駅周辺については、「市の中心拠点」に位置付けられ、大阪モノレールの延伸にかかる新駅設置が予定されているほか、大規模公有地の活用等により駅周辺の新たな顔となる都市空間の形成をめざしています。エリアの状況として、トラックターミナルをはじめとした流通業務市街地等の活用・更新によるイノベーションの創出をめざすこととして

おり、引き続き、関係者において、将来のあり方を検討します。

中百舌鳥駅周辺については、イノベーション創出拠点の形成に向け、イノベーション創出の取組と相乗効果を発揮し、活力が感じられる駅前空間の形成や交通利便性の向上に取り組んでいます。今後は、駅前広場の一部を土地利用転換し、一定期間貸し付け、商業・業務・多様なひとが交流する機能等と乗継改善にも資する民間施設の整備等を行う事業者公募を今年度中に実施する予定で取組を進めており、民間投資の誘発をはじめ、中百舌鳥駅周辺エリア全体の魅力と価値の向上を図ります。

次に、「グランドデザインの推進に向けた取組」について、ご説明いたします。

まず、「グランドデザイン推進に向けた体制の構築」です。

市町村と緊密に連携し、グランドデザインの推進に向けた取組を進めるため、情報共有や意見交換を行う場として、市町村まちづくり連携会議を、昨年7月に設置しました。今年度は、5月27日の開催を予定しています。また、市町村ヒアリングを行い、まちづくりの進捗や課題などを把握し、地域ニーズを踏まえたまちづくりの情報発信や技術的支援に取り組んでいます。

鉄道を軸としたまちづくりの推進に向けて、鉄道事業者との連携を強化するため、鉄道沿線まちづくり推進会議を昨年7月に設置しました。会議では、情報共有を図るとともに、各社の意向を踏まえながら、鉄道沿線まちづくりを推進してまいります。

JR 学研都市線においては、鉄道事業者や沿線市の意向を踏まえ、沿線まちづくり協議会を昨年8月に設置し、以降、昨年度は3回協議会を開催し、検討を進めています。今年度も引き続き協議会を開催し、沿線まちづくりビジョンの策定に向けた検討を進めてまいります。

次に、「推進に向けた取組」について、ご説明いたします。

はじめに、「グランドデザインの推進ロードマップ」です。グランドデザインの推進に向けては、大阪・関西万博開催を大きな節目と捉え、直前にあたる今年度、効果的な情報発信などを行い、まちづくりへの参画促進や民間投資を呼び込むなど、万博のインパクトを活かした推進に取り組めます。また、万博開催以降においては、万博開催で培われた新たなまちづくりの考え方や、新技術の導入等により、まちづくりを強力に推進していくこととしています。

次に、「市町村との連携によるグランドデザインの推進」について大阪全体のまちづくりを推進するため、市町村のまちづくりにおける取組や成果、さらには、複数市町村に共通した課題などの情報を戦略的に活用します。このため、「戦略的な情報発信によるまちづくりの機運醸成」と「市町村等の自律的なまちづくりの支援」の2つの柱で推進を図ります。これらの取組により、民間事業者等の投資意欲を喚起し、まちづくりへの参画を促進するとともに、市町村が取り組む、地域のまちづくりを促進してまいります。

ここから、「戦略的な情報発信によるまちづくりの機運醸成」と「市町村等の自律的なまちづくりの支援」について、それぞれの取組について紹介いたします。

それでは、「戦略的な情報発信によるまちづくりの機運醸成」の取組について、ご説明いたします。

「イベント等による情報発信の取組」について

グランドデザインで示すまちづくりの方向性等を広く発信し、まちづくりへの理解・関心を高めるため、府民や民間事業者等をターゲットに、シンポジウムの開催に取り組んでいます。昨年度は、大阪公立大学の橋爪教授などにご登壇いただき、新しい時代の必要性に応じた大都市圏の創出をはじめ、「万博後の大阪のまちづくりに求められるもの」をテーマにご講演いただくとともに、鉄道沿線まちづくりを進める上での重要なポイントについて、パネルディスカッションによりご議論いただきました。

府内市町村等が進めている具体的な取組等を紹介し、まちづくりへの参画促進につなげるため、民間事業者等をターゲットに、まちづくりセミナーの開催に取り組んでいます。昨年度は、大阪公立大学の嘉名教授にご登壇いただき、将来の大阪における共創型のまちづくりの重要性などについてご講演いただくとともに、まちづくりに取り組む各市などから取組を紹介いただき、参加者のまちづくりへの参画意欲向上に努めました。

次に、「多様なツールや媒体を活用した情報発信の取組」です。

昨年度、府内各所のまちづくりの進捗を実感できる取組内容やアピールポイントをまとめた「まちづくりレポート」を作成し、情報発信に取り組んでおります。

グランドデザインに関する取組や、市町村等が進めるまちづくりなど、大阪のまちづくり情報をとりまとめ一元的に発信することで、まちづくりへの理解や関心を高めるとともに、具体的な取組への参画を促進するため、まちづくりポータルサイトを開設しています。

資料に掲載しているQRコードから、ポータルサイトにアクセスできますので、後程、ぜひご確認いただければと思います。先の「まちづくりレポート」につきましても、近日中にホームページに掲載を予定しております。

大阪の魅力や最新のまちづくり情報等を紹介し、まちづくりへの参画促進などを図るため、昨年度、まちづくり取組紹介パンフレットを作成しました。このパンフレットが有用な情報源となるよう、まちづくりの取組の概要だけでなく、市町村が、民間企業や市民に期待することなどについて記載し、昨年1月開催のまちづくりセミナーで配布しました。また、ポータルサイトでもご覧になれます。

グランドデザインの内容等を視覚的にわかりやすく紹介し、まちづくりへの理解や関心を高めるため、プロモーション動画を作成しました。

ここで、動画の一部を放映いたしますので、ご覧ください。

《動画放映 30 秒程度》

今年度は、この動画をはじめ、昨年度作成したプロモーションツールを様々な場面で活用し、戦略的な情報発信に取り組んでまいります。

今年度より新たに、グランドデザインや大阪のまちづくりを知るきっかけを広く発信するため、ターミナル駅周辺などに設置されたデジタルサイネージを活用した情報発信に取

り組みます。

こうした戦略的な情報発信によるまちづくりの機運醸成に関する取組については、昨年度、グランドデザインの理念や市町村の取組を多くの方に、知っていただくことを主眼に取り組んでまいりました。今年度は、いよいよ来年に迫った万博開催の機会をとらえ、高まる機運も活かしながら、関連する様々な取組との連携も視野に、効果的な情報発信に取り組むこととしています。

続いては、「市町村等の自律的なまちづくりの支援」について、ご説明いたします。

はじめに、「まちづくり情報の提供・技術的支援等の取組」です。

グランドデザインのめざすべき都市像をはじめ、府域における地域構造や社会トレンドを踏まえつつ、市町村等の自律的なまちづくりを支援するため、まちづくりの手引書となる指針を作成いたしました。市町村の行政界を越えて連携する取組や、市町村の共通課題の解決に向けた取組など、広域的観点から推進すべき取組について示すとともに、まちづくりに関連する法制度や補助制度などの支援メニューを、市町村等が活用しやすいよう体系的にとりまとめました。

この指針が様々なシーンにおいて活用されることで、まちづくりへの参画促進や、投資意欲の喚起、ノウハウ共有などが図られ、これまで進まなかったまちづくりの進捗等へ寄与することが期待されます。また、この指針を多くの方々にご活用いただくため、さまざまな機会や媒体を通じて、幅広く情報発信を行ってまいります。

大阪府においても、市町村等の自律的なまちづくりを支援するため、多様な主体が一体となったまちづくりのコーディネートや、まちづくり情報の提供・技術的支援など、様々な場面において、この指針を活用し、大阪全体のまちづくりの推進につなげてまいります。また、この指針を実効性あるまちづくりの支援ツールとして更なる活用を図るため、例えば、大規模公有地等の活用について検討し、指針に追記するなど、継続的な内容の充実を図ってまいります。

次に、「多様な主体が一体となったまちづくりのコーディネート」の取組として、鉄道沿線まちづくりの推進について、ご説明いたします。

鉄道沿線まちづくりの推進の取組として、ＪＲ学研都市線沿線まちづくりに取り組んでいます。大阪都心部と関西文化学術研究都市をつなぐＪＲ学研都市線は、おおさか東線を経由し、新大阪駅や大阪駅に接続しており、こうした交通ネットワークの拡充や、沿線市や鉄道事業者の今後の取組を踏まえ、沿線地域でまちづくり機運が高まっている路線です。こうした状況のもと、前述の協議会を設置し、鉄道沿線まちづくりの取組を進めています。

昨年度の取組として、関係者が沿線全体に視野を広げ、沿線の特徴などについて共有するとともに、「住む」「働く」「訪れる」の３つのテーマのワーキングを設置し、沿線市や鉄道事業者で構成されるメンバーにより、まちづくりの方向性について検討を進めてきました。

今後は、今年度末の沿線まちづくりビジョンの策定をめざし、めざす将来像やその実現に向けた取組方針などについて、引き続き検討を進めてまいります。

続きまして、地域資源を活かした広域連携のまちづくりの推進の取組について説明いたします。

大阪広域ベイエリアのまちづくりについてご説明します。大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン案に基づき、各地域の地域資源やストックを「みがく」とともに、「つなぐ」「ひろげる」取組を進めております。そのための推進体制を立ち上げ、情報共有や意見交換などを行っております。地域資源をつなげる取組として、万博開催を見据え、昨年度から和歌山県とも連携し、泉州地域で自転車によるスタンプラリーを行っております。今年度はさらに大阪市内にまで広げ、自転車による周遊魅力の向上等に努めます。

淀川沿川の魅力を活かしたまちづくりについて、ご説明します。淀川沿川まちづくりプラットフォームを立ち上げ、淀川沿川で実施されるまちづくり活動等の関係者で意見交換を行い、広域連携事業の実施や情報発信を行っております。これまで淀川沿川の魅力を発信するため、沿川の見どころを自転車でめぐるスタンプラリーなど、様々なイベントの開催や、プロモーションビデオ、マップの作成等を行ってきました。令和3年より国において淀川大堰閘門の整備が進められるなど、万博開催に向けて、舟運や沿川の賑わいづくりの取組を関係者が連携して進めているところです。今年度は、万博開催の半年前といったタイミングに合わせて、国や市町、民間団体と連携しながら、イベント等に取組み、沿川の魅力を発信していきます。

自転車を活かしたまちづくりについてご説明します。万博を契機に多くの来阪者が各地を周遊できる環境の整備に向けて、地域資源の活用の観点から広域連携による自転車を活用したまちづくりを進めています。そのため、近隣府県や府内の市町村等で情報共有や意見交換を行う連携会議を設置しております。具体的な取組としましては、昨年度までにサイクリングマップのデジタル化、アプリへの反映を実施してきました。今年度は市町村が作成したマップのデジタル化や、近隣府県と連携して、広域的にサイクリングマップを充実させるとともに、その広報、情報発信に努め、マップを活用した地域資源の周遊等、自転車を活用したまちづくりを進めていきます。

南河内地域まちづくり検討会についてご説明します。地域の特徴や地域資源を活かした広域連携のまちづくりを推進するため、大阪府と南河内地域の市町村で検討会を立上げ、南河内地域がめざすべきまちづくりの方向性や具体的な取組などの検討を行ったところです。

検討会においては、南河内地域の持続可能なまちづくりの推進につなげるため、3年間の取組ロードマップを示し、市町村が推進すべき具体的なまちづくりの取組や公民連携により推進すべき広域プロモーション、企業とのマッチングなどについて、協議・検討を行いました。

企業とのマッチングについては、南河内地域の市町村職員が登壇し、それぞれの自治体の魅力をプレゼンするとともに、解決したいまちづくりの課題を発表するといった自治体ピッチイベントを、三井住友銀行さんとの連携により開催しました。当日は多くの企業の皆様にご参加を頂いたことで、市町村と企業との繋がりが生まれており、令和6年度においては、

事業が具体的に進むよう取り組んでまいります。

こうした「市町村等の自律的なまちづくりの支援」に関する、令和6年度取組といたしましては、昨年度の成果を活かして、推進に向けた取組を継続・発展させ、市町村等との緊密な連携のもと、まちづくりの支援強化に取り組んでまいります。具体的には、まちづくり指針やまちづくりコーディネートのための連携体制など、昨年度の成果を活かし、まちづくり指針の充実を図る取組や、沿線協議会における取組を通じて、市町村の自律的なまちづくりを後押しするための支援強化に取り組んでまいります。

ここまで説明してまいりました、推進に向けた取組について、今後の方針をまとめてお示しいたします。

先程説明いたしました、令和6年度は、万博開催後のまちづくりを見据えつつ、万博のインパクトを最大限活かしながら、推進に向けた取組を進めてまいります。

具体的には、これまで説明してまいりました、昨年度の成果をしっかりと活かしながら、万博開催の機会をとらえ、市町村のまちづくりに係る取組等を効果的に発信することにより、多様な主体の参画や民間投資を促してまいります。また、市町村等や関係部局と緊密に連携しながら、まちづくりの支援強化に取り組んでまいります。以上で、事務局からの説明を終わります。

（司会）

ありがとうございました。それでは、グランドデザインの推進に向けて、これからの取組等についてご意見を頂戴したいと思います。まず、大阪府市長会会長、大阪府町村長会会長より事前にご意見を頂戴しておりますので、私の方から紹介させていただきます。

まず、大阪府市長会 辻会長のご意見です。「これからの大阪全体のまちづくりの指針となるグランドデザインは府内各地の特性や強みを活かしたまちづくりはもとより、今後の成長・発展をもたらすものとして、大きな期待を寄せているところです。来年開催されます大阪・関西万博、さらにその先の未来を見据え、めざすべき都市像の実現に向け、市町村とのさらなる連携強化を図り、民間活力を最大限活かした取組を進めていただきますようお願いいたします。」とのことでございます。

続きまして、大阪府町村長会会長 田代会長からのコメントでございます。「グランドデザインは今後の大阪の成長・発展につながる羅針盤として大きく期待しているところです。また、来年は大阪・関西万博が開催されることから、そのインパクトを活かし、市町村との連携を図りつつ、民間活力を最大限に活かしながら、めざすべき都市像の実現に向けたまちづくりの戦略を着実に進めていただくようお願いいたします。今後も、まちづくり指針等の様々なツールを用いて市町村の取組を支援していただきたい。」とのことでございます。

続きまして、副知事、副市長の皆様から、一言いただきたいと思います。まずは大阪府森岡副知事からご意見いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(本部員) 森岡副知事

まずは資料のご説明ありがとうございました。今資料でご説明ありましたように、一番をめざすのは都心なのですが、かなりまちづくりの成果が表れている、あるいは非常に動きつつあるなというところを感じています。万博を迎えまして、そしてまた万博後を見据えて、こういった取組をこの一年どのように動かしていくのか、そして府内各所でどのように広げていくのか、そのあたりが重要になってきますので、また皆様ご協力をよろしくお願いいたします。また既に結実しつつあるまちづくり以外に、これから新たに動かそうとするまちづくりを、どのようにして動かしていくか、後半にご説明がありましたが、鉄道の沿線協議会など、そういった場なども活用して、市町村のまちづくりに対する支援を強化していかなければならないと思っております、そのためには本日お集りの関係部局の皆様の連携が必要になってくると思います。また社会情勢や技術の進展など、どんどん世の中の動きは速くなっています。世の中の動きに対応したまちづくりを進めていくためには、やはり各部局の皆様のご協力のもと、横断的な取組をしていかないといけないなと思っています。これからもお集りの皆様と一緒にやっていただいき、万博のインパクトを活かしてまちづくりを進めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

それでは、大阪市高橋副市長、よろしくお願いいたします。

(本部員) 高橋副市長

まずは、資料のとりまとめご苦労様でした。よくまとまっていると思います。私から3点コメントさせていただきたいと思います。

万博時、ポスト万博、それから府内各地の活性化について3点少し意見を述べたいと思います。まず1点目の万博時についてなんですけど、来年に迫っておりますので、これは本当に大阪を知ってもらう絶好の機会であります。これまで万博に向けまして府市の方でなんばの駅前広場ですとか御堂筋の道路空間再編、うめきた周辺の整備など都市のリニューアル化、そのような公共投資を行うことで民間投資を呼び込んで都市の価値を高めて、その結果としまして、淀屋橋周辺でありますとか大阪城周辺、中之島、そしてうめきた2期、そういったところで最先端のまちづくりを進めてきましたので、是非ともこれを万博時には世界に発信して欲しい。今日の資料の動画とかパンフとか日本語だけですので、英語版をしっかりと作っていただいて、ちゃんと世界に向けてこんなまちを作っているということをPR出来るように来年に向けてしっかりと準備をお願いします。

それからポスト万博についてです。これはリニア中央新幹線、北陸新幹線が集まります新大阪でありますとかうめきた2期の完成、またなんば周辺の開発など南北軸上の多くの魅力ある拠点形成に加えて、説明にありましたとおり、夢洲のIR、それから万博跡地の開発、それから弁天町エリアの開発あるいは京橋、森ノ宮ということでこれから東西軸も重

視したまちづくりが進んでまいりますので、2030 年代の大阪のまちづくり像、これの工程表を作っていただいて、しっかりと PR 出来るようにこの工程表によって新しくまた民間投資を呼び込む取組をしてほしいと思っています。特に今年度は夢洲や森ノ宮のまちづくりをスタートさせる重要な時期ですので、その準備をしっかりとお願いします。

最後、府内各地のまちづくりですけども、こうした大阪の都心部のまちづくりのインパクト、あるいは万博のインパクトをさらに府内各地で加速させていくためには大阪府市はもちろん、経済界や各種団体をはじめ民間事業者や市町村が一体になって取り組むことが重要であると考えています。大阪都市計画局が中心になって、ランドデザイン推進本部を構成する関係部局がそれぞれの役割を果たし、市町村や民間事業者と緊密に連携をしながら、本日の取組方針に沿ってしっかりと取り組んで欲しいと思います。

それから細かいところですけども今日作っていただいたまちづくり指針を拝見しました。よくできていると思いますが、キーワードとしてエリアマネジメントというキーワードがないと思いました。今この大阪市内のほうで最先端のエリアマネジメント団体とも連携した連絡会議の方を作っていますので、そこで市内の最先端のエリアマネジメントの取組をまとめた報告書もありますので連携してもらって PR してもらえるようにお願いします。私からは以上です。

（本部長） 田村副市長

資料とりまとめ、お疲れさまでございました。私からは簡単にお話を一つさせていただきます。まちづくりは一般的にエリアを限定して行われることが多いんですけども、先ほど高橋副市長からも森岡副知事からもお話ありましたが、万博ですとか箕面の北大阪急行の延伸、今後予定されているなにわ筋線、大阪モノレールの延伸など、やはりまちづくりが広域の中でどういう位置づけで取組まれているかというのは、大事な視点かと思います。そういった意味では、この大阪のまちづくりランドデザインをしっかりととりまとめられて、それを情報発信し、それぞれの取組がどういう相対的な関係にあるのかをしっかりと自分で認識できるというのは、とても大事なことだと思います。ぜひこの取組が一過性のものにならないように、大阪府・大阪市・堺市が連携して取り組んでいきたいと思っています。

また、我々の取組も、しっかりと南大阪をけん引するためにも進めなければいけないと思っています。堺都心部、中百舌鳥、あるいは泉北ニュータウン再生といったところにしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。民間の投資を呼び込むためにも各市の情報をこういった場を通じて発信をしていきたいと思っています。引き続き協力関係をしっかりと築いていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

（司会）

それでは、各部局の皆様からのご意見を頂戴したいと思いますけれども、時間の限りもございまして、私の方からご指名させていただきたいと思います。先ほどからもコメントの中

でありましたように、万博のインパクトをまちづくりにつなげるためにも、開催を契機にイノベーションを活かしていくことが重要になります。そういった観点から大阪府商工労働部馬場部長からご意見をいただけますでしょうか。

（本部員）大阪府商工労働部 馬場部長

ありがとうございます。万博時に国内外に旗を立てるべく現在取り組んでいる再生医療をベースとした未来医療の産業化の推進や、国際拠点の形成、ディープテックのスタートアップのグローバル拠点都市の実現など、万博のインパクトを活かして国内外に旗を立てていくことに我々取り組んでいるところです。また万博で実証していくアンモニアや水素、eメタンなどの次世代エネルギーの実用化、商用化のための民間投資をいかに万博の後に地元大阪のベイエリアに実現していくか、あるいはカーボンニュートラル技術の実装化や空飛ぶクルマのビジネス化に向けた取組を、万博後を見据えてしっかりと進めていくよう取り組んでいます。これらをやっていくためには、拠点として考えると人・モノ・カネ・情報を集めたり、あるいは新たな技術の産業化、たとえばポート整備を通じた空飛ぶクルマのビジネス化にしても、いずれにしてもハードとソフトの両面からのまちづくりとの連携が欠くことができません。さらに、地域の経済と人口を支える事業所をいかに維持するか、あるいは成長するスタートアップ、生み出したものを府内から流出を抑制するか、さらには生産拠点と府内外からの新規投資を進めていくための土地の確保、そういうものについても、やはり皆様方とのグランドデザインを通じた連携が不可欠だと考えています。産業政策部局としましても、グランドデザインの推進ということで、皆様方との連携を図り、万博後につなげていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

（司会）

ありがとうございます。続きまして堺市まちづくり部局を代表し、建築都市局休場局長をお願いいたします。

（本部員）堺市建築都市局 休場局長

ありがとうございます。堺市建築都市局の休場でございます。堺市の方からは、先ほどご紹介いただいた海に開かれたまちということで堺旧港のご紹介いただきました。グランドデザインの世界で存在感を発揮するエリアに位置付けられました堺都心周辺エリアについて取組状況をお話しさせていただきたいと思います。2025年の大阪・関西万博、2031年のなにわ筋線の開業、堺市におきましては2040年頃の南海高野線の高架化といった大きな事業がございます。こういったものを契機ととらえて、活性化に向けて、このグランドデザインの中での他の地域の取組と歩調を合わせながら着実に進めることが重要と考えてございます。堺都心周辺エリアにおきましては、昨年5月に策定した「堺都市未来創造ビジョン」に基づいて堺市が持つ類いまれな歴史文化、また多様な都市機能等の地域資源を活かして、人

を惹きつけ、また関心の持たれる魅力的な堺都心部の形成に取り組んでいるところでございます。内容につきましては、堺東駅を中心とする堺東エリア、また江戸時代に形成された町割、環濠、町家などの歴史的建造物が多く残る環濠エリア、堺駅を中心とする堺駅堺旧港エリア、この各エリアにおいて市街地の更新に向けた取組、また堺市が持つ歴史文化資源、水辺などの公共空間の利活用、このエリアを結ぶ次世代都市交通ということで、SMI 都心ライン、この SMI というのは堺・モビリティ・イノベーションの頭文字でございますけれども、東西交通の改善に向けて SMI 都心ラインの推進を行っているところですが、こういった取組で、多様な人が集う魅力的なエリア形成、また安全快適に過ごせる居心地の良いウォーカブルな空間形成に向けて取組を進めているところでございます。

また、先ほどご紹介のありました大阪の中核を担う拠点エリアに位置付けられました、南海高野線、泉北高速鉄道、また地下鉄御堂筋線が結節する中百舌鳥駅の周辺でございますが、ここでは産学官から成るコンソーシアム、こういった活動促進と交通結節点に相応しい中百舌鳥駅前広場の再編、こういったものに取り組んでございます。駅周辺エリア一体で都市機能強化、また限られた空間を活用してイノベーション創出拠点の実現に向けた取組を進めているところでございます。これらの取組を進めるにあたりましては、やはり民間事業者等の参画、また公民連携の取組は重要と考えております。今後とも、グランドデザインの推進体制のもと、連携・協力のほどよろしくお願いします。

(司会)

ありがとうございました。続きまして今回よりご参画いただいております、副首都推進局西島局長、お願いいたします。

(本部員) 副首都推進局 西島局長

副首都推進局長の西島でございます。副首都ビジョンでは 2050 年代に現在の GDP の 2 倍をめざすという大きな成長目標を掲げていまして、その実現に向けましては、都心部における拠点形成に加えて、都心部周辺や郊外での拠点形成を進め、そうした土台の上に万博をインパクトとして、産業の創出などによりまして、民間投資や雇用の拡大を図っていくことが重要だと思っております。

本日の会議でグランドデザインの推進によって、都心部だけでなく府内各地でまちづくりが進んでいることをご紹介いただきまして本当に参考になりました。特に、府域全体の経済の底上げという意味では、民間投資をいかにして呼び込んでいくかが重要だと考えており、今回の多様な主体の参画促進や民間投資の喚起を図るという取組方針は、今後もそういうところで進めていくのが我々としても良いのかなと思います。民間投資ということでは、今回は市町村との連携したまちづくりに関する話が多かったですが、幹線道路や都市計画道路の整備を通じて、たとえば 309 号の整備に伴い商業施設の立地が進んでいますが、こうした動きが雇用面や経済効果だけでなく、まちの更新や地域の活性化、大阪の成長につなが

るものだと思っておりますので、こうしたグランドデザインの取組をさらに進めていく必要があるのかなと思いました。

また、当局で公立大学法人大阪も所管させていただいておりますので、また東部のまちづくりも含めてご協力させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

（司会）

ありがとうございました。同じく今回よりご参画の堺市市長公室の辻市長公室長、お願いいたします。

（本部員）堺市市長公室 辻市長公室長

堺市市長公室の辻でございます。現在オール大阪で大阪の副首都化の推進に向けて、暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさを含めた都市機能の充実に取り組んでいるところでございます。本市におきましては、グランドデザインに位置付けられている堺都心周辺エリア、中百舌鳥エリア、泉北ニュータウンエリアの拠点形成を図り、人や企業を惹きつける都市魅力の向上が重要と認識しております。また昨年度実施されましたG7大阪・堺貿易大臣会合の経験も生かしながら、さらなる大阪の都市ブランドの向上に向けた取組を進めていく必要があると考えております。こういった取組をオール大阪で進めていく中で、大阪・関西万博の開催という絶好の機会をとらえてさらに加速させて、万博閉幕後も見据えた長期的な視点をもって都市機能充実の着実な実現につながるよう大阪府市と連携していきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

（司会）

本来であれば皆様から一言ずつご意見を頂戴したいところではありましたが、お時間の関係等もありまして、大変恐縮ではございますが、最後に、これまでのご意見を踏まえまして、大阪都市計画局尾花局長よりご意見をいただきます。

（本部員）大阪都市計画局 尾花局長

大阪都市計画局の尾花でございます。本日は本会議にご出席を賜りましてありがとうございます。冒頭から副知事、副市長、また市長会、町村長会の会長様から貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。さらには関係部局長の皆様から積極的な取組方針、また心強いご発言を賜りましたことを感謝申し上げます。まちづくりの成否については、官民にわたる総合力の発揮、これにかかっていると実感しております。特に行政分野におきましては、産業政策やインフラ整備はもちろん、観光交流、また今後将来に向けた環境、デジタル技術など様々な分野との連携、さらには市町村も含めた教育、福祉、医療など暮らしを支える機能の充実が不可欠であると感じております。

昨年度、グランドデザインの実現に向けたまちづくり指針を作成しました。高橋副市長か

らのエリアマネジメントの実施、推進も含めまして、この指針を活用しながら、市町村や関係部局、鉄道会社をはじめとした多様な主体の皆様とともに各地でまちづくりの具体化を図ってまいりたいと考えております。また合わせて様々なプロモーション活動を通じて民間投資を喚起していく、ということを行いながら、万博を契機に都心部の拠点開発をはじめ大阪全体のまちづくりを強力に進めてまいりたいと考えております。どうか皆様には引き続きグランドデザインの推進に向けまして、より一層の連携・協力をお願いしたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

（司会）

それでは、以上で本日の議事は全て終了しました。これにて第5回大阪のまちづくりグランドデザイン推進本部会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。